

感動一点

『猫』（色紙） 1970年頃 小川原 脩 画

旧制倶知安中学校3年生の頃から絵を描き始め、90歳まで創作し続けた小川原脩。

70数年間、絵を描くという連続するものを持ち続けてきた。油絵、デッサン、色紙など描いた作品の数は数千点にも及ぶだろう。その中でも馬、犬、白鳥など小川原にとっての定番となる動物を描いた作品は結構多い。それら動物以外にも、1970年代以降になるとキタギツネ、エゾシマリス、エゾシカ、さらにフクロウなど森の動物たちも登場する。しかし、「猫」を描いた作品は極端に少ない。油絵では1点、色紙とデッサンで3～4点ぐらいしか知らない。

かつて聞いたことがある。「なぜ、猫を描かないのですか」、ややしばらくしてから、困ったような顔で「猫は、あまり好きではないんだよな」と。



ふる探訪 さと

あの時代この時代

『レルヒは羊蹄山頂に立ったか?』 明治45年 4月17日

351回



登山会事務所前のえぞ富士登山隊（日本スキー発祥資料館蔵）

明治45年4月17日6時、宿泊していた駅前の旭旅館を出発したえぞ富士スキー登山隊一行は、2時間かけて半月湖畔入口にあった蝦夷富士登山会事務所に到着しました。ここでコーヒーを飲み、8時30分頂上目指して出発。四合目までは余裕の一行でしたが、そこから先がスキーを装着しての登山は無理でした。氷雪と化した斜面を登っては、滑り落ちを繰り返しながら一步一步前進する様は、まさに蟻地獄に落ちた虫のようです。ようやく七合目に到達しましたが、突然の猛吹雪が襲ってきました。進退窮まる状況下であって何とか九合目までたどり着きました。

ここから頂上まではわずかな距離。少し進んで平たんな場所で同行の奥谷記者が「ここが頂上だ」と、思わず万歳を叫ぶ隊員もいたそうです。後の検証によれば、万歳を叫んだ場所は山頂手前だったようです。

羊蹄山山開き&半月湖水開き開催

羊蹄山山開き&半月湖水開きは6月9日！

安全祈願祭の後、半月湖の散策をし、「金剛力鍋」をふるまう予定です。

ゆったりと湖水まで自然を感じてみませんか？

- 日時／6月9日（土）10時～
- 参加費／無料（要予約）
- その他／無料送迎バスあり
- 申し込み・お問合せ先／倶知安観光協会 ☎22-3344

レルヒさんと羊蹄山で遊ぼう♪



レルヒさんが町にスキーを広めてから、4月17日で100年を迎えたことを記念し、スキー伝来100周年記念実行委員会では『レルヒさんと羊蹄山で遊ぼう』を企画しました。

会場には新潟県上越市のゆるキャラ「レルヒさん」と、藻岩レルヒ会の皆様が来場。50名以上の参加者が羊蹄山2合目付近まで登山の後、尻滑りを楽しみました。